



BB Limited (NT)



AKIRA OKAZAWA with BB Limited (CW)

パッシブベースが目指していた境地。

## BB LIMITED/LIMITED5

ビンテージモデルのサウンドを徹底的に研究し、それを超えるための正攻法を積み重ねて、パッシブ4弦の新境地を提示したBB Limited。「鳴り・響き」を極めるため、Warmoth社との協力体制のもと、アルダーボディ+メイプルネックというもともとオーソドックスなコンストラクションを洗練。最上の材と緻密な加工により、質感にあふれた鳴りを実現しました。ピックアップは、ビンテージだけ持つサウンドテイストを追求した専用設計のJタイプ。材の音響特性を最大限に引き出すラッカーフィニッシュから、弦振動を無駄なくボディに伝えるブリッジ、ビンテージモデルのサウンドとプレフィールを忠実に再現する逆巻ベグまで、すべてのエレメントがこだわりの集大成です。そして、プロフェッショナル達からの高まる評価と期待に応え、Limitedのクオリティを5弦ベースに展開したのがLimited 5。Low-Bに対応し位置を設定した新設計ピックアップなど、5弦ベースとしての完成度をBB Limitedレベルで追求した待望のパッシブ5弦です。

**BB Limited** (BB LTD) ¥185,000(税抜き)  
with SPECIAL SOFTCASE

BODY:Alder by Warmoth NECK:Maple(Bolt on)by Warmoth FINGERBOARD:Rosewood 21F(254R) BRIDGE:BB-III NX PICKUPS:YBJ-A41N(AlnicoV)×1, YBJ-A41B(AlnicoV)×1 CONTROLS:Front Volume, Rear Volume, Master Tone SCALE:863.6mm HARDWARE:Nickel FINISH:CW(クリームホワイト) .NT(ナチュラル) TOP COAT:Lacquer

**BB Limited 5** (BB LTD5) ¥200,000(税抜き)

with SPECIAL SOFTCASE NEW

BODY:Alder by Warmoth NECK:Maple(Bolt on)by Warmoth FINGERBOARD:Rosewood 21F(250-400R) BRIDGE:BB-III NX PICKUPS:YBJ-A51N(AlnicoV)×1, YBJ-A51B(AlnicoV)×1 CONTROLS:Front Volume, Rear Volume, Master Tone SCALE:863.6mm HARDWARE:Nickel FINISH:BL(ブラック) .NT(ナチュラル) TOP COAT:Lacquer



BB Limited

BB Limited 5

CW

BL

## Special Advisers for Limited

BB Limitedの完成度は、さまざまなジャンルのアーティストによる試奏評価を繰り返すことで、パッシブベースの新境地を拓く領域へと高められました。プロダクト・アドバイザーの誰もが、サウンドだけでなく、音響特性や数値を超えた微妙な感覚まで「プロが仕事で使うレベル」をクリアしたと証言しています。

【岡沢 章】開発に参加したのは3年くらい前ですね。要求したのは、とにかくオールドベースで「鳴るといわれるものを徹底的に研究して、鳴る要素だけで削ってほしいということです。ボディに弦の振動がいちばん伝わるような、その振動を自分の体で受け止められるような、そんなシンプルな楽器にして欲しかったんです。いま、スタジオやライブでBBを使っていますよ。とても幅広くクリアで、存在感があり、そのうえガッツのある音なんです。弾き込んでいって、弾き手のクセなんかミックスされると、どんどん素晴らしい楽器になるでしょうね。

【柿沼 清史 / STARDUST REVUE】単体で弾いていい音がするベースは沢山ある。しかし、バンド・アンサンブルの中でベースの音が埋もれず、他の楽器や歌ともぶつからないバランスのとれたベースは仲々ない。今は、BBをレコーディングでも、ライブでも、メインベースとして使っています。

【六川 正彦】レコーディング及びライブで活躍しているBBは、オールドベースのテイストを残しつつ、腰のある中・低音の締まりが存在感を持っており、エンジニアの評価も高い楽器です。

【河合 徹三】ダイナミックレンジの広い音が要求されるライブ・レコーディングでは、オールラウンドに対応するBBがしかりフィットしています。繊細な曲では特に映えます。

【満園 庄太郎 / BOW WOW】このベースにはなんの飾りもない、だが限らない可能性を秘めている。俺と一緒にそれを探していきたいと思います。



KIYOSHI KAKINUMA



MASAHIKO ROKUKAWA



TETSUZO KAWAI



SHOTARO MITSUZONO